



W コマンド

この章では、W で始まる Cisco NX-OS の Quality of Service (QoS) コマンドについて説明します。

wrr-queue cos-map

割り当てられたサービス クラス (CoS) 値をマッピングして、出力キューのいずれかを選択するには、**wrr-queue cos-map** コマンドを使用します。CoS マップをデフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
wrr-queue cos-map queue-id cos1 ... cos8
```

```
no wrr-queue cos-map queue-id cos1 ... cos8
```

構文の説明

<i>queue-id</i>	出力キューの ID。範囲は 0 ~ 3 です。
<i>cos1... cos8</i>	キューを選択するためにマッピングする CoS 値。最大 8 個の CoS 値を入力します。各値はスペースで区切ります。有効な範囲は 0 ~ 7 です。

コマンド デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- 受信キュー 0 および送信キュー 0 : CoS 0 および 1。
- 受信キュー 1 および送信キュー 1 : CoS 2 および 3。
- 受信キュー 2 および送信キュー 2 : CoS 4 および 5。
- 受信キュー 3 および送信キュー 3 : CoS 6 および 7。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

このコマンドは、レイヤ 3 マルチキャスト トラフィックにのみ適用されます。

このコマンドを使用すると、各キューが異なる重み付けラウンドロビン (WRR) パラメータで設定されたさまざまなキューに、トラフィックを配信できます。

レイヤ 3 マルチキャスト トラフィックには、最大レイヤ 4 つのマルチキャスト キューを設定できます。各マルチキャスト キューに少なくとも 1 つのサービス クラス (CoS) 値を設定することを推奨します。

例

次に、CoS 値 0 および 1 をキュー 1 にマッピングする例を示します。

```
switch(config)# wrr-queue cos-map 1 0 1
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show wrr-queue cos-map</code>	重み付けラウンドロビン (WRR) キュー情報を表示します。

